

あなたも埴輪職人！埴輪をつくろう

時 10月26日(日)午前9時～正午
場 赤堀歴史民俗資料館
対 小学1年生以上
 ※小学5年生以下は保護者の同伴が必要です
定 15人(先着順)
¥ 650円(材料費)
申 10月8日(水)から直接または電話で赤堀歴史民俗資料館、または専用HPから申し込んでください
 ※作った埴輪は約1カ月後に赤堀歴史民俗資料館で渡します。当日の持ち帰りはできません



▲専用HP

赤堀小学校連携事業

赤堀小学校の6年生が製作したオリジナル埴輪を、企画展と合わせて展示します。



▲昨年の赤堀小学校6年生が製作した埴輪

第1回 ついに発見！埴輪を製作した遺跡

企画展に合わせ、本号から3回にわたる連載で展示資料を紹介します。今回は埴輪を製作した遺跡に関連する資料です。

これまでの発掘の経緯

令和6年6月から下触町の石山南側にある石山南遺跡・石山南古墳群で発掘調査が行われました。この場所はこれまでの調査で、古墳時代後期の古墳がいくつも集まった古墳群であることが分かっていました。今回の調査では、古墳群の広がりを確認できると考えられていましたが、それを大きく上回る成果がありました。発掘調査が進むにつれ、古墳を築いた人々が埴輪を作っていた跡が見つかったのです。

発掘された物。県内初も！

発見されたのは埴輪を焼くための「窯」や作業を行った「工房」、材料の粘土を掘り出した「採掘坑」でした。これらが一体となった形で見つかるのは、県内でも初めてのことです。これまで、県内で埴輪の生産跡が見つかったのは藤岡市や太田市などでしたが、今回県中央部で埴輪づくりの現場が確認されたことは、大変貴重な成果です。

埴輪以外の発見も

今回の発掘調査では、埴輪だけでなく日常生活で使われる土器(土師器)も作られていたことが判明しました。古墳と埴輪が盛んだった群馬県において、埴輪と土器の生産の様子を同時に知ることができる今回の発見は、古墳時代の社会を理解する大きな手がかりとなります。次回は、埴輪製作遺跡に隣接する古墳群から出土した埴輪を紹介します。



▲埴輪を製作した工房



▲下触町の石山南側の石山南遺跡・石山南古墳群



▲発見された埴輪窯

企画展

つくるハニワ、かざるハニワ

—新発見の埴輪製作遺跡と古墳群—

令和6年6月、下触町の石山南遺跡で埴輪を作っていた跡が見つかり、大きな話題となりました。今回の調査では、埴輪を焼くための「窯」や作業を行った「工房」、材料の粘土を掘り出した「採掘坑」がそろって発見されました。さらに、日常生活で使われる土器(土師器)も作られていたことが分かりました。これらがセットで見つかるのは、全国的にも非常に珍しい事例です。また、隣接する石山南古墳群からは、市内で2例目となる「見返り鹿」の埴輪が出土しました。さらに、東京国立博物館で保管されていた埴輪と、本市が所蔵する埴輪が84年ぶりに再会し、元々古墳に飾られていた姿も明らかになりました。埴輪を作った場所と飾った古墳をテーマにした企画展を開催します。ぜひご覧ください。



時 10月10日(金)から12月21日(日)までの午前9時～午後4時30分

※月曜日・10月14日(火)・11月4日(火)・25日(火)は休館です

※10月13日(祝)・11月3日(祝)・24日(月)は開館します

場 赤堀歴史民俗資料館

¥ 無料

問 赤堀歴史民俗資料館(☎63-0030)

歴史文化講座を開催します

企画展の内容に合わせた講座を開催します。

【第1回】

時 10月12日(日)午後1時30分～3時

演題 古墳王国ぐんまの埴輪－尾崎喜左雄博士の古墳調査を中心に－

講師 右島和夫さん(元群馬県立歴史博物館特別館長)

【第2回】

時 11月9日(日)午後1時30分～3時

演題 発見！石山南埴輪製作遺跡

講師 永井智教さん(山下工業株式会社文化財事業部調査研究員)

【第3回】

時 11月23日(祝)午後1時30分～3時

演題 東日本最大級の埴輪製作遺跡 生出家埴輪窯

講師 山崎武さん(元鴻巣市教育委員会生涯学習課副参事)

【第4回】

時 12月14日(日)午後1時30分～3時

演題 石山南古墳群 ハニワ史に残る奇跡の再会

講師 市職員

*

*

いずれも

場 赤堀公民館

定 各100人(先着順)

¥ 無料

申 10月8日(水)から直接または電話で赤堀歴史民俗資料館または専用HPから申し込んでください



▲専用HP

